

2023年12月期第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 セーラー万年筆株式会社

コード番号 7992 URL <https://sailor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 町 克哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 木村 孝 TEL 03-6670-6601

四半期報告書提出予定日 2023年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,055	△12.9	△79	—	△69	—	△74	—
2022年12月期第1四半期	1,212	△14.9	△17	—	△3	—	△15	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △70百万円(-%) 2022年12月期第1四半期 △19百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△2.52	—
2022年12月期第1四半期	△1.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,864	3,858	56.1
2022年12月期	7,224	3,929	54.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 3,850百万円 2022年12月期 3,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—				
2023年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,600	4.6	2	—	2	△80.4	0	—	0.00
通期	5,800	15.3	20	—	20	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社(社名) , 除外 — 社(社名)

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

②①以外の会計方針の変更 : 無

③会計上の見積りの変更 : 無

④修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	29,659,554株	2022年12月期	29,659,554株
②期末自己株式数	2023年12月期1Q	16,011株	2022年12月期	15,987株
③期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	29,643,561株	2022年12月期1Q	14,606,052株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の状況	
(2) 財政状態の状況	
(3) 連結業績予想など将来予測情報に関する説明	
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和や政府による各種政策の効果もあり、緩やかな景気の持ち直しが見られました。一方でウクライナ情勢等の地政学リスク、欧米・中国の景気減速リスク、原材料やエネルギー価格の高騰、為替相場の不安定な動きなど、世界経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、建設を進めてきた文具事業の広島工場が2022年10月に竣工し、引き続き抜本的な経営改革を目指しつつ、万年筆・インクを軸に文具・ロボット機器両事業で積極的な販売活動を展開しました。その結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高10億5千5百万円(前年同期比12.9%減)、営業損失7千9百万円(前年同期営業損失1千7百万円)、経常損失6千9百万円(前年同期経常損失3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失7千4百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1千5百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(文具事業)

文具事業につきましては、主力である高価格帯の金ペン万年筆や万年筆用インクを軸に国内外でのブランド価値の向上、新工場建設による生産性向上に全力で取り組んでまいりました。しかし新型コロナウイルス感染症に対する行動規制の緩和等が影響し、Eコマース関連の売上が奮いませんでした。その中でも海外では特に中国向けが好調を維持し海外向け全体では堅調に推移しました。その結果、売上高7億8千7百万円(前年同期比13.9%減)となりました。利益面では、金ペン万年筆製品の値上げにより利益率が改善されましたが、売上の減少が影響し、セグメント損失1千3百万円(前年同期セグメント利益1千6百万円)となりました。

(ロボット機器事業)

ロボット機器事業につきましては、引き続き部品供給不足に伴う製品納期の長期化などから、特に特注装置の売上が振るわず、売上高2億6千7百万円(前年同期比9.7%減)、セグメント損失6千6百万円(前年同期セグメント損失3千3百万円)となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産の状況)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて3億6千万円減少し、68億6千4百万円となりました。このうち、流動資産は、現金及び預金の減少4億7千8百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少3千4百万円、商品及び製品の増加9千3百万円等により、前連結会計年度末から3億4千1百万円減少して37億9千9百万円となりました。固定資産につきましては、建物及び構築物の減価償却等により前連結会計年度末から1千9百万円減少して30億6千5百万円となりました。

(負債の状況)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2億8千9百万円減少し、30億6百万円となりました。このうち、流動負債は、支払手形及び買掛金の減少1億5千2百万円や賞与引当金の増加1千3百万円などにより、前連結会計年度末より2億3千3百万円減少し、17億1千2百万円となりました。固定負債は、長期借入金の減少2千5百万円や退職給付に係る負債の減少2千8百万円などにより、前連結会計年度末より5千5百万円減少し、12億9千3百万円となりました。

(純資産の状況)

純資産は、前連結会計年度末から7千万円減少して、38億5千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、2023年2月14日に発表いたしました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,177,347	698,724
受取手形、売掛金及び契約資産	960,785	925,975
商品及び製品	586,081	680,005
仕掛品	363,252	408,278
原材料及び貯蔵品	810,834	807,775
その他	245,596	282,090
貸倒引当金	△3,609	△3,640
流動資産合計	4,140,289	3,799,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,606,645	1,590,364
土地	859,647	859,647
その他(純額)	402,700	394,349
有形固定資産合計	2,868,993	2,844,362
無形固定資産	47,224	45,083
投資その他の資産		
投資有価証券	89,008	98,105
その他	79,180	77,455
投資その他の資産合計	168,188	175,561
固定資産合計	3,084,406	3,065,007
資産合計	7,224,695	6,864,216

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	642,216	490,028
短期借入金	700,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	100,008	100,008
リース債務	12,747	11,600
未払法人税等	28,852	20,231
賞与引当金	6,262	19,989
その他	456,162	370,627
流動負債合計	1,946,249	1,712,485
固定負債		
長期借入金	374,990	349,988
リース債務	33,514	31,124
再評価に係る繰延税金負債	259,188	259,188
退職給付に係る負債	645,570	617,230
製品自主回収関連損失引当金	5,057	5,049
資産除去債務	23,100	23,100
その他	7,839	7,839
固定負債合計	1,349,259	1,293,521
負債合計	3,295,509	3,006,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,653,573	4,653,573
資本剰余金	3,022,268	3,022,268
利益剰余金	△4,342,779	△4,417,527
自己株式	△21,163	△21,167
株主資本合計	3,311,898	3,237,147
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,719	△2,753
土地再評価差額金	591,726	591,726
為替換算調整勘定	22,025	24,527
その他の包括利益累計額合計	611,033	613,501
非支配株主持分	6,253	7,560
純資産合計	3,929,185	3,858,209
負債純資産合計	7,224,695	6,864,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	1,212,051	1,055,558
売上原価	848,837	742,807
売上総利益	363,213	312,750
販売費及び一般管理費	380,458	392,681
営業損失(△)	△17,244	△79,930
営業外収益		
受取利息	24	27
為替差益	3,246	1,827
持分法による投資利益	7,206	9,130
受取賃貸料	4,123	4,125
助成金収入	4,474	—
その他	765	1,155
営業外収益合計	19,841	16,266
営業外費用		
支払利息	4,694	4,203
コミットメントフィー	1,183	1,183
その他	6	36
営業外費用合計	5,884	5,423
経常損失(△)	△3,287	△69,087
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,287	△69,087
法人税、住民税及び事業税	12,120	4,793
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	12,120	4,793
四半期純損失(△)	△15,408	△73,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	267	866
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,675	△74,747

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失(△)	△15,408	△73,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△33
土地再評価差額金	—	—
為替換算調整勘定	△3,685	2,942
その他の包括利益合計	△3,672	2,909
四半期包括利益	△19,080	△70,971
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,414	△72,279
非支配株主に係る四半期包括利益	333	1,307

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(期末日満期手形等の会計処理の変更)

期末日満期手形の会計処理については、従来、満期日に決済が行われたものとして処理しておりましたが、2022年5月23日の親会社の異動に伴い、親会社の会計方針に統一するため、前第2四半期連結会計期間より手形交換日をもって決済処理する方法に変更いたしました。

そのため、当連結会計年度に属する四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に含まれる比較情報に適用した会計方針と前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に適用した会計方針との間に相違がみられます。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	文具事業	ロボット機器事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	915,682	296,368	1,212,051	—	1,212,051
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	915,682	296,368	1,212,051	—	1,212,051
セグメント利益又は損失(△)	16,414	△33,659	△17,244	—	△17,244

(注) セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載の通り、期末日満期手形の会計処理について、2022年5月23日の親会社の異動に伴い、前第2四半期連結会計期間より満期日決済の処理から手形交換日の決済処理に変更しており、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	文具事業	ロボット機器事業	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	787,945	267,613	1,055,558	—	1,055,558
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	787,945	267,613	1,055,558	—	1,055,558
セグメント損失(△)	△13,457	△66,473	△79,930	—	△79,930

(注) セグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. その他

該当事項はありません。